

**JRFU**

Japan Rugby Football Union

ルール

RULES

IRBラグビー憲章

1.ラグビーの目的 The Object of The Game

ラグビーの目的は、それぞれ15名、10名、または7名からなる2つのチームが、競技規則およびスポーツ精神に則り、フェアプレーに終始し、ボールを持って走り、パス、キックおよびグラウンディングして、できるかぎり得点を多くあげることであり、より多くの得点をしたチームがその試合の勝者となる。

解説

ラグビーの目的を達成するためには、2つの基本原則がある。1つはボールの争奪(contesting possession)であり、もう1つはプレーの継続(maintaining continuity of play)である。

これらはボールを用いるチームスポーツが共通して持つ特質であり、ボールを保持しているチーム(攻撃している側)の目的は得点をあげることを目指し、ボールを保持していないチーム(防御している側)は、ボールを再獲得して攻撃得点をあげることを目指す。しかしラグビーは他のスポーツとその競技方法において以下の点で異なる。

- (i) 手も足も両方使うことができる。
- (ii) プレイヤーはボールを持って自由に走ることができる。
- (iii) 防御方法にも、安全性を損なわない限り、制約がない。
- (iv) ゴールラインを越えてボールを持ち込むことによって得点となる。
- (v) ボールは後方に位置する味方のプレイヤーにのみパスをすることができる。
- (vi) 攻撃している側のプレイヤーは、味方チームのボールキャリアーより後方の位置からのみプレーに参加できる。
- (vii) 攻撃できるスペースの創出は、ボール獲得・保持・再獲得といったチームのスキルによって左右される。

ラグビーには上記のような特性があり、これらによってラグビーは独自の特性を持つスポーツとなっている。

2つの基本原則のうちの1つで、ラグビー独自の特性であるボールの争奪とは、キックによる開始と再開、スクラム、ラインアウト、ラック、モール、そしてタックルで行なわれる。

もう1つのプレーの継続とは、ボールをパスしたり、持って走ったり、キックしたりすることや、ラックおよびモールを形成することによってである。

(2003.4.4)

▲ ページトップへ


JRFU

Japan Rugby Football Union

ルール

RULES

IRBラグビー憲章

4. 競技規則制定の原則 The Principles of Rugby Law Making

競技規則制定の原則は、競技規則を制定するものに、ラグビーの原則を正しく表す競技規則を作成するための枠組みを提供するためにある。

競技規則は次の原則に基づいて制定される。

安全性 Safety

競技規則にしたがってプレーしているすべてのプレーヤーに対して、競技規則自体が保護を与えるものでなければならない。

平等な参加機会 Equal Opportunity to Participate

競技規則は、体格、スキル、性別、年齢、競技にかける意欲など、それぞれによって異なるプレーヤーがその能力のレベルに応じて、安全で、競い合い、かつ楽しめる環境の中でプレーできるようにするものでなければならない。

独自性の維持 Retention of Identities

ラグビーは独自の特性を数多く持ち、これらの独自性は失われてはならない。

(i) ボールの争奪 Contests for Possession

- プレーの開始時と再開時において
 - ・キックによる開始と再開
 - ・ラインアウト
 - ・スクラム
- ラック、モールを含む一般プレーの中で

(ii) 攻撃 Attack

相手チームのゴールラインに向かってボールを動かすスキルには、ランニング、パス、キックなどがある。このうち最も特徴的な独自性は、パスを前に投げることができないことである。これは他のスポーツにはほとんど見られない特徴である。したがって、ボールを前進させることができる他の方法としては、ボールを持って走ったり、キックを行なうことに限られる。

(iii) 防御 Defence

タックルをしてボールを再獲得するスキルは、ラグビーにおける防御に関する主要な独自性である。競技規則は、スキルの劣っている側の攻撃に対して、その時間とスペースを奪い、プレッシャーを与えるという防御のプレーを可能にするものでなければならない。

プレーの継続 Continuity of Play

プレーの継続に関連した独自性としては、ラックとモールがある。

これらの独自性とは、攻撃している側(ボール保持チーム)が、得点をするまでには至らなくとも、ボール保持を継続し、もう一度攻撃を再構成しなおすことを可能にする方法のことである。ラック・モールを形成することで、攻撃している側は、横のスペースと相手チームとの間の縦のスペースを再び生み出すことができる。また、そうすることによって、攻撃を継続するために必要な時間を得ることもできる。

プレーする喜びと観る楽しさ Enjoyment and Entertainment

競技規則は、プレーヤーが安全に楽しみ、プレーする喜びを味わえるような、そして観客も観て楽しめるような試合を作り出すための枠組みを示すものでなければならない。いつも同じ楽しさが味わえるとは限らないが、プレーヤーがスキルを駆使して質の高いボールを獲得し、そのボールを活用してプレーの継続を目指すことを可能にすることで、プレーする側および観る側双方の楽しさが増すことになる。

スペースの確保／報償、失敗と罰則 Provision of Space / Rewards, Errors and Punishments

競技規則は、相手チームよりスキルフルにラグビーのスキルを駆使することができたチームに報償を与えるものでなければならない。この報償とは、最初のボールの争奪において、よりスキルフルなチームにボールとプレー